

■ ますの話題

岩瀬らしさあふれるお祭り

10月29日、岩瀬農村環境改善センターで、「いわせ悠久まつり2017」が開催され、多くの人でにぎわいました。

地元の特産品を使った「清流米かっぱ巻き・米ロールケーキ早食い大会」や今年から始まった「マレットチャンス」、恒例の「大花火大会」など、各種イベントは大盛況！

この日は朝からあいにくの雨に見舞われましたが、会場は1日中熱く盛り上がりしました。



極太のかっぱ巻きを一番に制するのは誰だ！

松明通りに新たな怪獣現る！

11月11日、松明通りでまちなかモニュメントベンチ除幕式が行われ、橋本市長やコンサートを終えたNAOTOさん、第一中・第三中の生徒たちが参加しました。

新たに登場した怪獣は、ピグモンとカネゴン。ベンチと一体となったモニュメントは、怪獣と一緒にベンチで休んだり、写真を撮ったりと、いろいろな楽しみ方ができそうです。



友好珍獣ピグモンとコイン怪獣カネゴンがベンチで待っています

受け継がれる伝統と創り上げる歴史…第二小学校

11月18日、第二小体育館で、新校舎の落成と創立110周年を祝う記念式典が行われました。式では、歴代の校長やPTA・体育会長、教育功労者に感謝状を贈呈したほか、「二小コンサート」が行われ、合奏や合唱などを楽しみました。



出席者全員で合唱をしました

松明あかし×聖アントニオ祭 —ペトリ市の副市長が来須—

11月10日、「火祭り」で相互交流を深めているイタリアのフェアラ・フィリオールム・ペトリ市のフランチェスコ・デ・リティス副市長が、「火祭りで須賀川とイタリアを結び会」の代表者とともに市庁舎を訪れました。リティス副市長からは「友好の証」として、カミッロ・ノフリオ市長から預かってきた手紙や、「聖アントニオ祭」のタペストリーなど、たくさんのお土産が贈られました。

リティス副市長たちは、八幡山行義や11日に行われた松明あかしに参加。13日には第二小を訪れ、児童と交流を図りました。



火祭りでつながり、そして深まる異国との友好

力走を見せた須賀川市！

11月19日、第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が開かれ、しらかわカタルスポーツパークからゴールの福島県庁前までの16区間、94.8kmを、53チームで競いました。

1区のみ古寺冨佳選手は1位でたすきをつなぎ、区間賞を獲得。須賀川市チームは、総合順位8位の力走を見せました。

7年ぶりに第5中継所となった須賀川市役所前には大勢の市民が集まり、大きな声援を送っていました。



①頑張った須賀川市チーム ②市役所前でたすきをつなぐ岡部耕平選手(左)と加藤将士選手 ③ゴールテープを切る田村一平選手



この作品は、「銅版画東都名所図(二十五図)」と同様、版画作品が国の重要文化財に指定された数少ない例です。この十二図には、輸入された書籍の挿絵を引用した作品が多くあり、布に刷ったものや、それを用いて仕立てたたばこ入れや袋などの小物がある

ふるさとの遺産(280)
重要文化財
銅版画見本帖 並歌堂田善筆(十二図)附「多賀城碑」「ネーデルラントの独立図」原版1枚



動物と市松模様(銅版画見本帖から)

田善は、いまだに謎の多い作家です。しかし、重要文化財に指定された油彩画や銅版画は、田善が芸術家として意欲にあふれた多才な人物であったことを物語っています。

このことが知られています。これは、田善が郷里に持ち帰り、知人に譲った原画によって生まれた副次的な制作物と捉えられてきました。しかし近年は、田善が当時ヨーロッパから輸入された銅版画によるプリント生地「銅版更紗」に着想を得て、銅版画技法に接した相当早い時期から主体的に

布への印刷に取り組んでいたと考えられています。確かに、十二図の中には、技法からみて比較的早い時期に制作したと考えられるものや、生地に反復して印刷することを想定した意匠もみられます。生涯に関する資料や制作についての記述がほとんどない田善は、いまだに謎の多い作家です。しかし、重要文化財に指定された油彩画や銅版画は、田善が芸術家として意欲にあふれた多才な人物であったことを物語っています。

写経愛好会

代表者 榎田 敏子
会 員 8人
発足年月 平成14年4月
連絡先 ☎(73)4274
活動日 毎月第1日曜日 午後1時~4時
活動場所 中央公民館

私たちの愛好会は馬町の婦人会で始まり、平成14年から現在の愛好会として活動しています。活動内容は、般若心経を筆や筆ペンを使い、1枚書き上げます。1枚仕上げるのに1時間ほどかかります。心を無にして集中し、物音一つしない、凛とした静けさの中で写経します。部屋の外の世界とは、かけ離れた雰囲気漂います。そのような中で、一筆一筆大事にして書き上げた作品は、薬師寺などに奉納したり、棺に入れたりしています。書き終わった後は、話をしたり、公民館の催し物を見学したりします。会員はみんな多彩な趣味をもって、お互いの趣味の話をしたり、料理が趣味の人は料理を作ってきたりと、写経以外の触れ合いも大切にしています。写経を始めてから、お寺や神社に興味湧いてきました。これからも写経を続け、みんなと充実した時間を共有していきたいです。 旭町 榎田 敏子

改善や薬物治療により進行を遅らせることが重要です。
早期発見が大事
市の特定健康診査では、腎機能検査を実施しています。CKDの早期発見のため、定期的に健康診断を受けましょう。また、生活習慣病の原因となる肥満や運動不足、過度の飲酒、喫煙、ストレスなどに注意し、予防に努めましょう。
健康つくり課 ☎(88)8123

CKDはメタボリックシンドローム(生活習慣病)と密接な関連があります。高血圧、糖尿病、脂質異常などの生活習慣病は、腎機能を低下させCKDの原因となります。進行すると、狭心症や心筋梗塞、脳卒中などの合併症を発生しやすくなるため、かかりつけ医の指導を受け、生活習慣の

CKDとは、腎臓の機能が慢性的に低下している状態のことを言います。日本のCKD患者数は1330万人(成人の8人に1人)と推定され、新たな国民病とも言われています。CKDは、初期には自覚症状がありません。だるさや食欲不振、むくみなどの症状が現れたときには病気が進行しているときが多く、そのままにしていると腎不全となり「透析治療」が必要になります。生活習慣病との関係

